



たまがわ

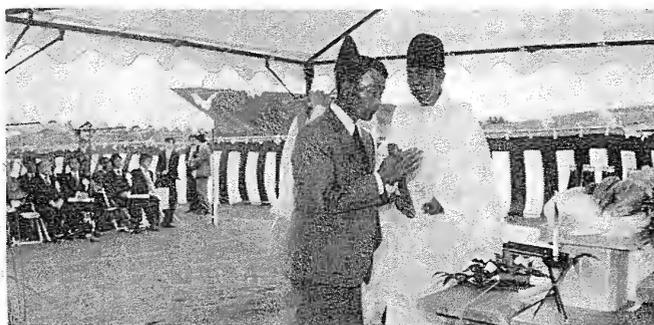
'87
10
No. 254



力強くクワ入れする村長



村の発展を祝い乾杯 (祝賀会)



地権者を代表して玉ぐしを捧げる石井利雄さん

県営玉川工業団地起工式

来春3月に完成予定

雇用機会の拡大、と地域の活性化、に、村民から大きな期待がかけられている県営玉川工業団地の起工式が9月26日現地で行われました。

県知事代理の佐藤出納長をはじめ、車田村長、地権者ら約200人が参列し工事の無事安全を祈願したあと村体育館で祝賀会を開催。

団地は来春3月完成を目指して、今後急ピッチで作業が進められます。

今月のページ

- 県営玉川工業団地起工式
工事の安全を祈る……2～3
- 福島空港
県が補償基準を発表……4
- 村敬老会を開催……5
- 昭和62年度一般会計及び
特別会計の決算報告……6～8
- 公民館だより……10
- お父さんの勉強部屋……11
- お知らせ……12

県営玉川工業団地

工事の安全を祈り起工式 完成予定は来春三月

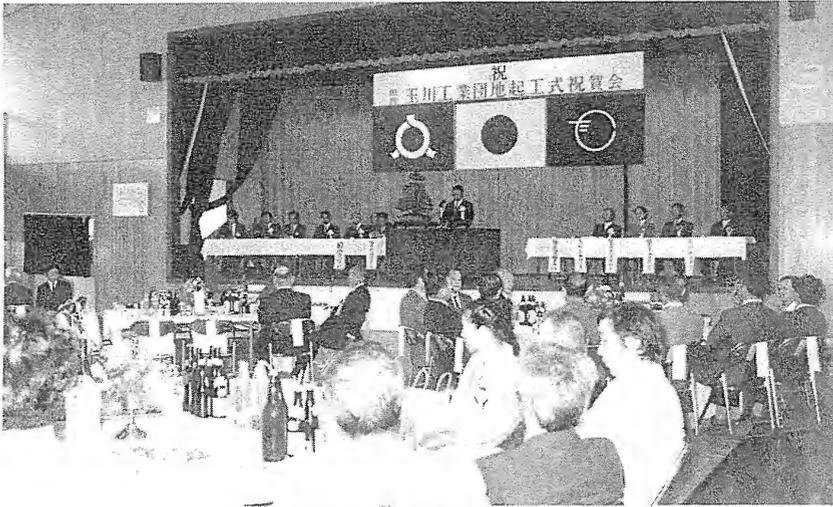
空港建設にともない、県内初の臨空型工業団地として期待がかけられている県営玉川工業

団地造成工事の起工式が、九月二十六日、午前十一時から現地

で盛大に行われました。待を述べました。続いて岸安雄県企業局長が工業団地の概要を説明したあと、県

議会議長代理の大野雅人県議、穂積良行、滝沢幸助両国會議員、富永浅川町長、双里村商工会長

がお祝いを述べ、佐久間村議会議長の音頭で乾杯をして村の発展を願いました。



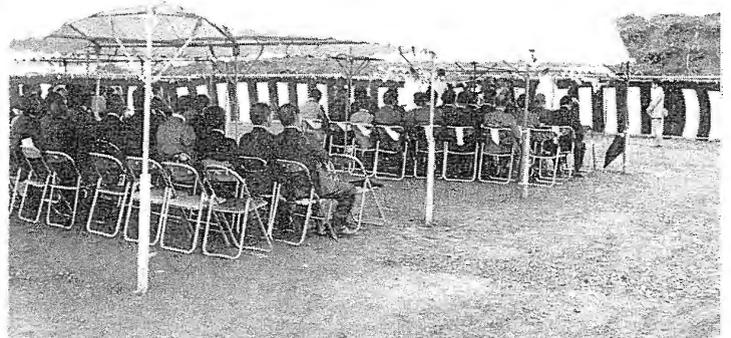
盛大に行われた起工式祝賀会 (村体育館)

起工式には県をはじめ、村・地権者・施工関係者約二百人が出席し、風雨の中行われました。神事の中で、県知事代理の佐藤静雄県出納長、車田村長、企業体を代表して金子三金興業社長が力強くクワ入れをし、地権者の石井利雄さんなど関係者が玉ぐしを捧げて工事の安全を祈願しました。

引き続き村体育館で祝賀会が開かれ、佐藤出納長は「臨空型工業団地のモデルケースとして取り組み、立地条件の優位性を生かして積極的に企業誘致を図るとともに、地域開発の拠点としたい」とあいさつ。続いて村長も「雇用機会の拡大と地域経済の活性化に大きく貢献し、村の限らない発展を約束するもの」と工業団地建設にかける期



クワ入れをする県知事代理の佐藤出納長



厳粛にとり行われた起工式

期待の声



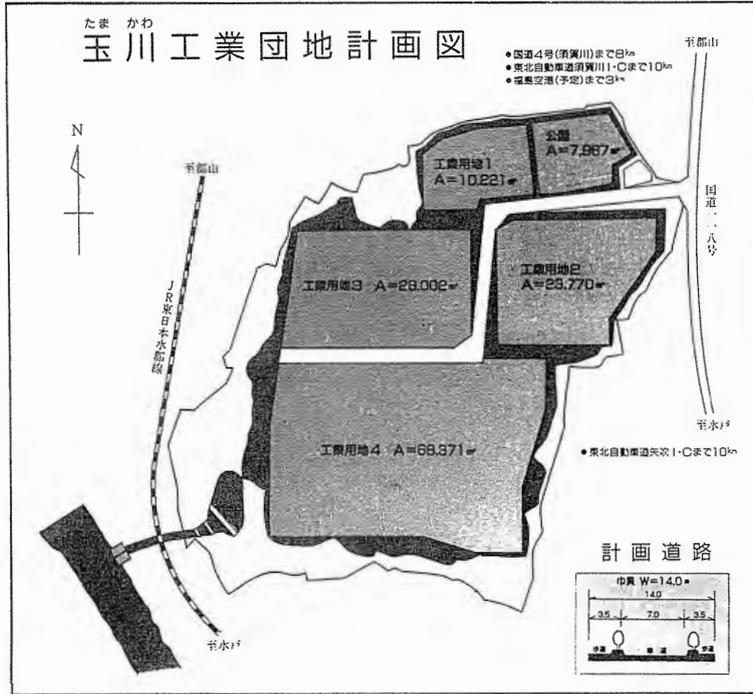
大野貞夫さん (南須釜・工場誘致委員)

限らない豊かな村づくりの第一歩としてうれしい限りです。村民が大きな関心と期待を持ち、私も立派な工業団地の完成を心待ちにしている一人です。働きたくとも働く場所がない」といった声もありましたので、良好な立地条件を生かし、ぜひともそういった声の解消に努めてほしいと思います。



熊谷洋子さん (南須釜・会社員)

今まで燃料と時間をかけて村外へ通勤したり、良い職場を求めて県外に就職したりしていたわけですから、とりわけ若い人達には朗報ですね。働く場所が増えて若い労働力が定着し、村の活性化も期待できます。地域との連携のとれた働きやすい職



玉川工業団地は県内八番目の
 県営工業団地として、大字川辺
 字宮ノ前の国道一一八号沿いに
 整備されます。

総事業費は用地買収費を含め
 十三億八百万円、施工業者は高
 田工業と三金興業の二社による
 建設工事共同企業体です。

交通の利便性 期待される優良企業の立地

工場誘致委員会を設立

造成工事の概要は、二一・八
 畝の用地の中に大小四区画の分
 譲地(図I参照)を整備するほ
 か、緑地帯や公園、調整池、幅
 十四メートル長さ六百メートルの幹線道路が
 設けられます。

また、この団地は、六十八年開
 港の空港予定地まで約三キロ、

東北自動車道須賀川・矢吹両イ
 ンターまで約十キロと交通の利
 便性に優れていることから、優
 良企業の立地が大いに期待され
 ます。

工事は来春三月に完成する予
 定で、今後急ピッチで作業が進
 められます。

村工場誘致条例に基づいてこ
 のほど村工場誘致委員会が設立
 され、九月一日午後三時から村
 就業改善センターで第一回の誘
 致委員会を開催し、大野貞夫さ
 んら十三人の委員に村長から委
 嘱状が交付されました。また、
 その席上、会長、副会長が選出
 され、会長には双里正司さんが、
 副会長に塩田征二郎さんが選ば
 れました。

で構成され、任期は二年。
 委員会は、村長の諮問に応じ
 て調査審議をし、円滑な工場誘
 致の推進等にあたるるとともに、
 県工業開発課、福島県東京事務
 所や大阪事務所とおして企業
 紹介がなされた場合、優秀な工場
 誘致を図るための調査、検討な
 どの役割を担う重要な機関です。
 工場誘致委員は次のとおりで
 す。(順不同)



- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 双里正司 |
| 副会長 | 塩田征二郎 |
| 委員 | 須藤金重 |
| 田子国夫 | 大野貞夫 |
| 大和田重徳 | 須藤善之 |
| 佐藤一男 | 溝井賢彦 |
| 小針章勇 | 仁井保雄 |
| 神枝金作 | |

毎年、地元就職を希望してい
 る豊富な労働力があるので、そ
 の雇用実現をいの一番に期待し
 たいですね。それと先祖伝来の
 土地を提供した地権者が、心か
 ら「協力して良かった」と言え
 るような優良企業の誘致をお願
 いしたいと思います。できれば
 環境破壊のない、世界にも通用
 するような企業だといえますね。



鈴木代吉さん
 (川辺・農業)

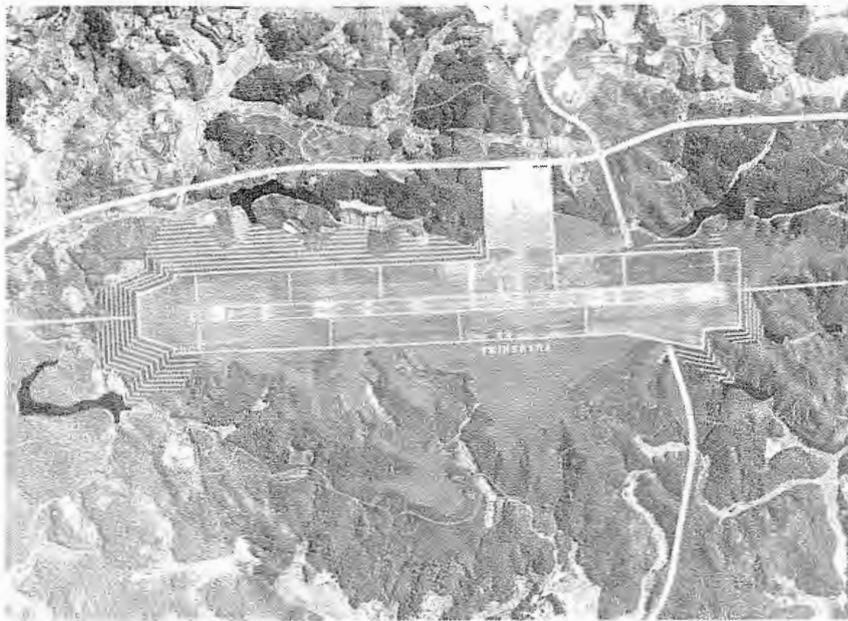
村発展の拠点として大きな期
 待が持てます。村内に企業が少
 くあれば、当然働く人も多くな
 ります。人口も増え、村の活性
 化につながるばかりでなく、い
 ろいろな分野にもメリットが出
 てくるのではないのでしょうか。
 受け皿づくりはできたのですか
 ら、一日も早い企業の誘致をお
 願いしたいですね。



国井文雄さん
 (小高・会社員)

場が一番ですので、優秀な企業
 誘致に頑張ってほしいですね。

安全はゆっくり、ゆったり、ゆとり、ゆずりあい



福島空港完成予想図

福島空港

県が補償基準を発表

今後は等級格差などを協議

高速交通体系の確立と交通網の一大拠点として、福島空港の建設計画を進めている県は九月二十一日地権者に対し、空港本体用地と空港公園の用地買収に伴う「損失補償基準」を発表しました。

補償基準の発表は午後七時から村就業改善センターで、四つの地権者会からなる「福島空港玉川村地権者会」の代表三十五人が出席して行われました。

示された基準のうち土地関係は別表の通りで、宅地、水田、畑、山林、原野の五地目。地目

別に最も高い等級の額が提示されましたが、土地の価格については県は不動産鑑定士等の専門家に依頼して、周辺の取引事例地や道路条件、位置的条件、環境条件などを考慮し、生活再建等も十分加味して設定しました。

県では今回示した最も高い等級の補償額を含め、等級区分ごとの補償額を地権者代表と交渉を重ね、補償基準を締結したい方針で、締結と同時に各地権者と個別交渉に入る予定です。

福島空港関係の今年度当初予算として、県は十二億円を計上。さらに四億円の補正予算を確保しているため、今後は本格的に用地交渉がスタートすることになります。

補償基準が発表されたことによつて、総面積四百五十六畝、長さ二千以上の滑走路を持つ福島空港の建設事業は、開港に向けて大きく前進し、新たな局面を迎えました。

土地関係の補償基準

1㎡当たり 単位：円

地目	補償基準額	左の地目の地番
宅地	25,000	玉川村大字小高字戸ノ内135-1
田	4,000	須賀川市大字狸森字下小林20・24 玉川村大字小高字戸ノ内32-1・2
畑	3,000	須賀川市大字狸森字井戸田102 玉川村大字小高字戸ノ内135-14
山林	1,300	須賀川市大字狸森字井戸田101-1 玉川村大字小高字戸ノ内77-1
原野	1,300	須賀川市大字狸森字松原52 玉川村大字小高字平ヶ谷地70-20

(注) 上記の土地の価格は、右に記載した地番の価格で、その他の土地の価格については格差協議により決定。なお、立木補償については、東北地区用地対策連絡会の基準による。



県が地権者等に補償基準を発表

乗る人に、ベルト すすめる 思いやり



今年も元気いっぱいの顔が

村敬老会

今年もそろった元気な顔

昭和六十二年度の村敬老会が九月十一日午前十時村体育館で開催されました。今年招待されたお年寄りは、昨年より五人多い三八九人で、そのうち三七〇人が元気な姿で出席されました。村長から「長い人生で培ってきた豊かな経験を若い世代に伝えていただき、これからもよき先輩としてご指導、ご助言をよろしく頼みます。また、長生きしてよかった、住んでよかったといえる村づくりを進めた

と思いますので、みなさんも健康に留意されまして、益々ご壮健で幸せ多い日々をお過ごしください。」と式辞がありました。続いて、今年八十歳になられた小針スイさんから三十五人の方一人ひとりに敬老年金証書が手渡されました。また、夫婦そろって八十歳を迎えられた三組のご夫婦（吉田綱義さん・タリさん、国井吉松さん・タカさん、阿部徳太郎さん・ハルさん）それぞれに特別記念品として夫婦



80歳以上のご夫婦に村長から記念品が



得意の横笛を披露する岩谷さん



婦人会のみなさんによるアトラクション

座布団が贈られ、式典は村老人クラブ会長の矢吹精助さんがお礼の言葉を述べて終了。その後は、昼食やお酒を飲みながら婦人会の各支部によるアトラクションで楽しいひとときを過ごしました。お年寄りの中には舞台上がって唄や踊りを披露する方もいて、会場は終始笑いと拍手に包まれていました。

また、今年村長が村内に住んでいる九十歳以上のお年寄り二十人を戸別訪問して記念品を贈呈し、長寿をお祝いしました。

村商工会工業部会主催による地域産業の活性化懇談会が、九月十日午後六時から村商工会館で開催されました。この懇談会は、企業側と若い世代が交流の場をもち、一緒になって将来の村づくりに対する活路を見い出そうと行われているもので、今回で二回目を迎えました。

第二回工業部会懇談会 地域活性化の活路見い出す

繰り広げました。コメントの中には、フライト農業の産地化形成や魅力ある商店街づくり、働く場所の確保など、早急に取り組んでほしいことなどがあげられ、今後そういったものを含めた村づくりの必要性を再確認していました。

会場には村内の企業九社の代表と、農協や郵便局など村内の事業所に勤務している方たち十六人のほか、双里村商工会長、車田村長、角田企画課長らが出席。

部会長あいさつのもと、早速今回のテーマである「私が考える『むらおこし』について、それぞれコメントを発表しあいながら意見交換し、約二時間にわたって熱っぽい懇談会を



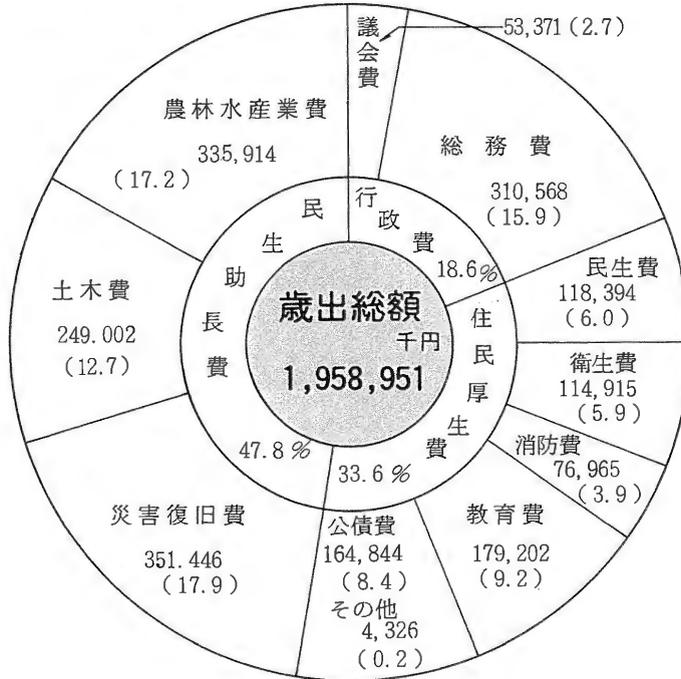
若い人たちからも活発な意見が

一般会計決算 豊かな暮らしに



四辻新田、村中地内の河川工事

1人当りに使かれたお金 258,198円	
	災害復旧費 46,322円
	総務費 40,934円
	農林水産業費 44,275円
	土木費 32,820円
	教育費 23,620円
	公債費 21,727円
	民生費 15,605円
	衛生費 15,146円
	消防費 10,144円
	議会費 7,035円
	商工費 569円
	労働費 1円



昭和61年度建設事業

＜補助事業＞

単位：千円

団体営農道整備事業	73,009
地方道路改良事業	51,275
農林水産施設災害復旧事業	39,757
公共土木施設災害復旧事業	302,351
文教施設災害復旧事業	9,339

＜単独事業＞

転作基盤合理化促進事業	6,425
県単農道整備事業	12,450
団体営ほ場整備事業	7,727
非補助土地改良事業	62,621
県営事業負担金	11,926
道路台帳整備事業	7,520
村単道路改良事業	5,561
公営住宅用地取得事業	43,140
須釜小屋上改修事業	11,670

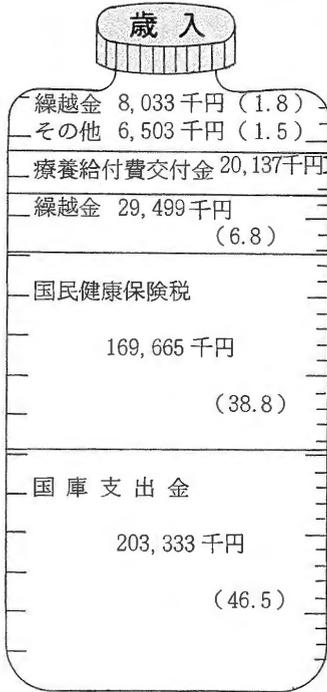
歳出

歳出(出たお金)では、河川改修工事などの災害復旧費に使われたお金がトップで三億五千四百四十四万円。次いで多いのは、ほ場整備や農用地開発など農業振興のための農林水産業費に三億三千五百九十一万円、役場等の維持管理などにあてられる総務費に三億一千五十六万円

がそれぞれ使われました。また、道路の改良整備をはじめとするより良い暮らしのための土木費に二億四千九百万円、次いで学校教育等の整備充実のための教育費、事業のための借入金返済の公債費、福祉の向上のための民生費、村民の健康を守る衛生費に約五億七千七百万円が使われ、積極的な村づくりが進められました。

安全はゆっくり、ゆったり、ゆとり、ゆずりあい

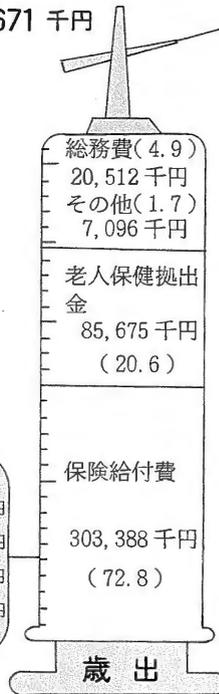
歳入合計437,170千円



歳出合計416,671千円

国保加入世帯 1,145世帯
被保険者数(老人を除く) 3,495人
1世帯当りの保険税 149,273円
1人当り保険税 41,748円

内 訳
療養諸費 267,835千円
高額療養費 30,413千円
助産費 3,380千円
葬祭費 1,760千円



特別会計

国民健康保険

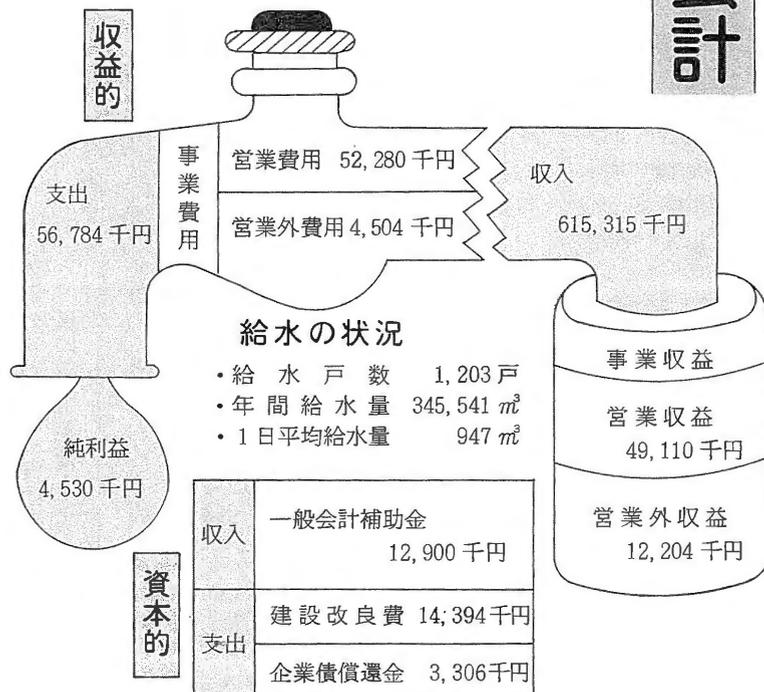
昭和六十一年度の国民健康保険特別会計は、歳入総額が四億三千七百十六万円、歳入総額は四億一千六百六十七万円で差引き二千四十九万円の黒字決算となりました。歳入の中で大きな財源の柱になっているのは国庫支出金と国民健康保険税の二つで、これだけで全体の八五・三%になって

また、資本的支出ではみなさんが安心してご利用できる飲料水を供給するため、布設工事や設備の充実、水源調査(ボーリング調査)の実施、業務用トラックの購入など、一千七百七十万円が支出されました。

本年度の水道事業の経営状況は収益的収入が六千三百三十一万円。このうち水道料金としての収入は昨年度より三・一%増の四千五百七十七万円になりました。収益的支出は五千二百二十八万円で、収支差引きをしますと四百五十三万円の純利益が生じました。

水道事業会計

います。なかでも国保世帯が納める保険税は、一世帯当り十四万九千二百七十三円で昨年度と比べて約一万五千元ほど負担が多くなっています。また、支出では病気やケガなどで医者にかかる場合に支払われる保険給付費が七二・八%と大部分を占めています。これは、前年度対比で六・六%の伸びで、一人当りの年間医療費は八万六千六百円。前年度より七千九百三十三円ほど多くなりました。



老人保険

- ・支払基金交付金 199,152
- ・国庫支出金 58,961
- ・県支出金 14,454
- ・繰入金 13,497
- ・繰越金、諸収入 345

歳入合計 286,409千円

- ・医療諸費 270,365
- ・諸支出金 11,023

歳出合計 280,388千円

国民金融公庫

融資制度のご案内

事業資金の年末融資

年末商戦に備えての商品仕入、ボーナスや諸経費の支払いなど年末に向けての事業資金にご利用ください。

◆普通貸付の融資条件

融資金限度額
一、七〇〇万円（特定の場合
は四、五〇〇万円）

融資期間

運転資金五年以内（必要に応じて七年以内）。設備資金十年以内（特定の場合は二十年以内）
利率

年五・二％（運転資金五年、設備資金十年を超える場合は、金利が若干上乘せになります。）

保証人
一名以上（担保が必要な場合もありません。）

11月1日から受付

国の進学ローン

お子さんが高校、短大、大学などに進学する場合、進学資金としてお役立てください。

融資限度額

一進学者あたり五十万円以内

融資期間

高校三年以内、大学四年以内（進学する学校の修業年限以内）

利率

年六・四％（変わる場合もあります。）

返済方法

毎月の元利均等返済、ボーナス時の増額返済も併用できます

保証

（財）進学資金融資保証基金または保証人

申込受付期間

昭和六十二年十一月一日から昭和六十三年四月三〇日まで。

なお、詳しいことは、国民金融公庫郡山支店（☎〇二四九一

二二一七四〇）にお問い合わせください。

学生募集

県立石川技術専門校

昭和六十三年度学生を次のとおり募集しています。技術を修得し、あなたも技術者の道をめざしてみませんか。

▼募集科目及び人員

建築科……二〇名
左官科……三〇名

▼応募資格

義務教育課程修了者または修了見込者

▼入学願書受付期間

十月十一日から十七日までの一週間は、違反建築防止週間で、この期間中の十月十五日、

違反建築をなくそう

建築活動の盛んな地域を重点に一斉公開パトロールを行ないます。

みなで注意して、違反建築をなくしましょう。

昭和六十二年十一月二日から十一月二〇日まで
▼入学試験
日時：昭和六十二年十一月二十
六日（木）午前九時三〇分から
場所：県立石川技術専門校
試験科目……学科及び面接
合格発表……昭和六十二年十二
月一日（火）

なお、詳しいことは、県立石川技術専門校（☎二六―三三三）へ。

シリーズ

税のアラカルト ⑤

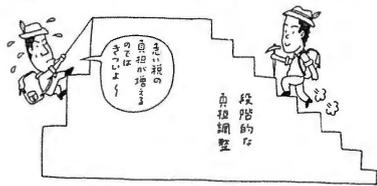
固定資産の

QとA

Q 土地について、3年に一度評価替えが行われ、次の評価替えまでの間は価格が据え置かれると聞きましたが、毎年税額があがるのはなぜでしょうか。

A 3年に一度の土地の評価替えに伴って税負担が一挙に増加するのを緩和するため、前年度の税負担を基礎とした段階的な負担調整措置が適用されているからです。

昭和60年度の評価替えに伴う60年度から62年度までの税負担については、宅地等の場合には毎年度の税負担の増加が最高3割を超えない範囲で、一般農地の場合には毎年度の税負担の増加が最高2割を超えない範囲で、負担調整措置を講ずることされています。



財産を相続したら

財産を相続したときには、財産をもらった人に相続税がかかりますが、一定の要件に該当した場合には相続税が軽減されます。

＜配偶者の税額軽減＞

配偶者が取得した正味の遺産額が、4千万円までか正味の遺産額の2分の1までであれば、配偶者には相続税はかかりません。

＜未成年者控除＞

20歳に達するまでの年数各1年につき3万円が控除されます。

＜障害者控除＞

相続人が心身障害者の場合は、70歳に達するまでの年数各1年につき3万円（特別障害者の場合は6万円）が控除されます。

＜贈与税額の控除＞

相続開始前3年以内に被相続人から贈与を受けた財産があり、正味の遺産額に加算して相続税額を計算しているときは、その贈与を受けた財産の価額に見合う贈与税が控除されます。

詳しくは、税務相談室郡山分室（☎0249-34-6300）か須賀川税務署（☎0248-75-2194）にお尋ねください。

公民館だより

高齢者教室野外研修

日本伝統の見事さと

近代科学に驚く



KDDの職員から説明を受ける教室生

今年の研修は、九月十六・十七日の二日間、百二十七名の参加者で茨城県高萩市で行われました。野口雨情を生んだ磯原の旧庄屋や記念館を国道六号から眺めながらバスを進めました。最初の目的地の豊工芸学校では、日本伝統の見事に感嘆し、衛星通信館(KDD)ではパラボラアンテナの近代科学の粋に驚かされました。

宿での学習発表会には、歌に踊りに出し物が次々と出て、活発な皆さんには頭が下がる思いがしました。

台風13号の影響で天候が悪かったことが残念でしたが、楽しい旅の思い出を胸に、全員が無事玉川の地にもどることができたことをうれしく思いました。

激浪を／我が青春に／ダブらせて／老人クラブ／高萩の旅

10月の行事予定

4日(日)第27回村民体育祭

19日(月)第6回婦人学級
 20日(火)第6回高齢者教室
 25日(日)少年剣道大会
 27日(火)第6回青年教室



塩田タキヨさん (四辻新田)

石川から古殿を通り、最初の見学地である豊工芸学校に着いたのは十一時。生徒さんの案内で畳技術の素晴らしい目を当りにすることができた。お昼には海岸の宿に到着したが、台風十三号による海鳴りと大波には

びっくりした。ラドン温泉の風呂に入り、ゆっくりくつろぎ、夕食を皆さんで歌と踊りがとぎれなく続いて楽しい宴会となった。翌日はKDDを見学。世界の電波が集まるという三〇層のパラボラアンテナには驚いた。帰りは天津港近くでおみやげを買い、一路玉川へと向かった。午後三時過ぎ、玉川に到着。参加者が車五台に連なり、にぎやかな楽しい旅であったのと同様に、古い文化と新しい文化を見学できた、貴重な旅でした。

【少年の主張作文】▽最優秀賞 矢吹ゆう▽優秀賞 大越良子 (須釜中)、西川英範 (泉中)▽優良賞 添田陽子、吉田雅弘、田子なお美 (以上泉中)、有賀由美子、矢吹清幸 (以上須釜中) 【家庭の日作文】▽最優秀賞 関根いづみ、湯沢康太、車田千加子 (以上玉一小)、湯沢のぞみ (泉中)▽優秀賞 草野はるみ、有賀富士子、石森さとみ (以上須釜小)、高原要輔 (玉一小) 小針ミチ子、矢部陽子 (以上上川小) 渡辺由紀子、阿久津まゆみ (以上須釜中)

昭和62年度 総合文化祭のご案内

秋恒例の文化祭を下記の日程で開催します。みなさんお誘いあわせご来場ください。

- *10月19日~21日<就改センターロビー> 山野草展
- *11月1日~3日<村体育館、就改センター> 児童生徒作品展、菊花展、盆栽展、保育所幼児展、郵政事業展、書道展、老人作品展、健康コーナー、写真展、茶道コーナー、生花展、工業展(2~3日) 商業まつり(3日、駐車場) 玉川村農協祭り(11月上旬予定)
- *7日~8日<須釜農協、須釜公民館> 須釜農協祭り、青年文化祭(8日)
- *14日<村体育館> 商工会講演会「言葉と人間関係」
- *4日~13日<就改センターロビー> 郷土史資料展
- *22日<村体育館> 芸能発表会

少年の主張・家庭の日 矢吹ゆうさんら最優秀 作文表彰

村青少年育成村民会議(会長・車田次夫村長)主催の第二回少年の主張作文コンクールと第三回家庭の日作文コンクールの入賞者の表彰式が、九月十二日午前十時半から村就業改善センターで開催され、矢吹ゆうさん(泉中一年)はじめ合わせて五人に最優秀賞が贈られました。

表彰式では、関根教育長から入賞者一人ひとりにお祝いの言葉とともに、表彰状と記念の楯が贈られました。入賞者は次のとおりです。

【少年の主張作文】▽最優秀賞 矢吹ゆう▽優秀賞 大越良子 (須釜中)、西川英範 (泉中)▽優良賞 添田陽子、吉田雅弘、田子なお美 (以上泉中)、有賀由美子、矢吹清幸 (以上須釜中) 【家庭の日作文】▽最優秀賞 関根いづみ、湯沢康太、車田千加子 (以上玉一小)、湯沢のぞみ (泉中)▽優秀賞 草野はるみ、有賀富士子、石森さとみ (以上須釜小)、高原要輔 (玉一小) 小針ミチ子、矢部陽子 (以上上川小) 渡辺由紀子、阿久津まゆみ (以上須釜中)

年金

みんなでも支える

国民年金

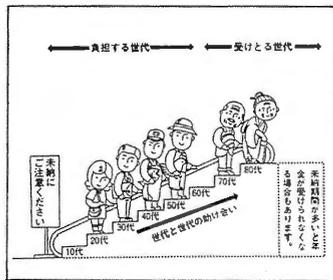
昨年四月に発足した新しい国民年金制度では、二十歳以上六十歳未満のすべての人が国民年金に加入することになり、将来すべての人が基礎年金を受けるしくみになりました。本格的な高齢化社会を迎え、年金は老後の支えとして生活とは切り離せないものです。

年金は、みなさんが今納めている保険料によって支えられています。あなたが年金を受けるためには、保険料納付が伴わなければなりません。

このように、年金制度は保険料を負担する世代と、受けとる世代との助け合いによって運営されており、保険料の未納があつてはその役目をはたすことができません。

農業・商業・自営業者の人や厚生年金・共済年金に加入していない人など国民年金の第一号被保険者は、保険料を納期ごとに市町村に納めることになっていきます。納め忘れなどの理由で

その年度に納めなかった人は、二年以内であれば社会保険事務所に納めることができます。昭和六十年・六十一年度に保険料を納めていない人は、早めに役場住民課年金係か郡山社会保険事務所に相談し納めるようにしましょう。



一口医学

ウオノ目の治し方

靴が足に合わなかったりして、皮膚に絶えず刺激が加わると、厚くなってタコやウオノメができてきやすい。

タコは痛みがないのに対し、ウオノメは皮膚の肥厚が下に向かって円錐状に起こるので、小さなクサビを突き刺した状態になり、その下にある神経を刺激して痛むのが特徴です。

ウオノメを防ぐには、足によく合った靴を選ぶことも大切です。手術で切除してしまう方法

もありますが、予想以上の大手術になり、足の裏は傷がふさがりにくいので、よほど痛みがひどいときでない限りやみません。普通はサルチル酸ばんそうこうをはって、ふやけたところを削り取ることをくり返すのがよいでしょう。削った上に、スポンジのパットをはっておくと楽になります。

ウオノメの数が増えたとき皮膚科医に来る人の多くは、イボです。特に子供の場合は、ウオノメはまずできません。ウオノメとイボの治療法は違いますから医師に診断してもらいます。

お父さん。勉強部屋

17

娘から見た父親

東京都立大学教授
詫摩 武 俊

娘から見た場合、同性の親である母と異性の親である父とはかなり違うものです。娘から見て父親は、多くの場合、身近に接した最初の異性で、男とはどんなものかを父親を通して知ることが多いのです。

成長するにつれて、お父さんが好きで、この父親のような男

性と結婚したいと思うようになることもあれば、うちの父親のような人とだけは一緒に暮らしたくないという娘さんもでてきます。一人の女性がどんな男性像をもつようになるかについて、父親の与える影響は大きいのです。

自分を好み、自分になつてい

いる年ごろの娘をもつ父親は幸せそうです。最後の恋人のような気がすると言つて、あちらこちらに連れ歩いたり、ニコニコしながら欲しい物を買つてやつたりしています。父と息子との間にはあまり見られない関係です。

父と娘の間に限らず、年齢の違う家族が親しく心の通い合う関係をもっているのは、お互いに幸福なことです。人間と人間の関係は積み重ねです。いい関係を基礎にして次のいい関係がつくられていくのです。父と娘との間にも同じことが言えます。

娘がまだ幼いころ、家庭での父親が温かな人柄で、外の社会の出来事をおもしろく話してくれたり、女の子であることを認めて愛してくれると、娘は父親に親しみと敬意をもち続けます。たまに厳しくしかられても、納得できる理由があれば好ましい関係は変わりありません。

これに対して、「女はしようがないものだ」という式の偏見をもっていたり、横暴で不作法な態度を示していると、しだいに嫌われるようになります。父親と母親の間がうまくいっていないとき、娘はほとんどの

場合、母親の肩をもつようになります。母親と娘との関係は密接なので、母親はよく自分の夫のことを娘に話します。そして、その内容が肯定的であるか、否定的であるかにより、娘の父親観は影響されるのです。父親と母親の仲がよく、母が父を愛し、尊敬していれば、娘もまた父親に愛情と敬意をもつようになります。



お知らせ



参加者募集

村長杯、ゴルフコンペ

下記により第一回の村長杯ゴルフコンペを開催します。村民のみならず、多数ご参加ください。

10月の健康ごよみ

- 9日(金) 乳幼児健康相談
母子センター
午前9:30~9:45(受付)
- 乳幼児健診
母子センター
午後1:00~1:30(受付)
- 13日(火) 1歳6カ月児健診
就改センター
午後1:00~2:00(受付)
- 15日(木) 成人病予防教室
山小屋公民館
午前9:30~12:00
- 16日(金) 母親教室
母子センター
午前9:30~9:45(受付)
- 20日(火) 献血車来村
- 30日(金) 3歳児健診
須釜公民館
午後1:30~2:00(受付)

今月の納税

固定資産税(二期分)
国民年金(十月保険料)
納期限は十月二十六日(月)までです。忘れずに納めましょう。

日時/昭和62年11月1日(日)
午前7時20分集合

コース/須賀川カントリークラブ
P.O.U.T.I.N同時スタート

会費/三、〇〇〇円
競技方法/18ホール・ストロークプレーオール6インチ

賞品/優勝、準優勝、3位、10位、飛賞、その他、
申込方法/玉川村公民館で受付
申込締切/10月20日(火)までに

お誕生おめでとう ございます



(8月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	須藤美寿々	重徳
生高	真弓勝弘	喜夫
蒜小	関根文夏	文昭
〃	車田理恵	文信
〃	小針祐子	泰良
中	小針一徳	邦一
岩法寺	大竹貴紀	正夫
北須釜	石井貴志	伊

おくやみ 申し上げます



(8月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川辺	鈴木ウメ	73	和夫
岩法寺	大竹和榮	56	和久
竜崎	小林周吉	76	周之助
南須釜	圓谷敬市	65	ミツ

約中「県民手帳」や 予受「県のすがた」

参加資格/村内居住者に限定
会費を添えて。

只今、昭和63年度版の「県民手帳」「県のすがた」「県勢要覧」の予約を受付しています。
ご希望の方は役場企画課まで

緑のカーネーション募集中

あなたも

緑作りに参加を

石川営林署では、今年も緑のカーネーションを募集しています。
石川営林署が公募している森林は下記のとおりです。

記

村のようす (62年9月1日現在)



1,550戸 (-3)



7,539人 (-2)



3,724人 (-2)

3,815人 (±0)

●白河市の車田安雄さんから

(社会福祉協議会) 一万円

寄付

ありがとうございます

左記の方から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

記